

部 報 第 1 2 8 号

平成 2 2 年 8 月 7 日
(財)全国高体連卓球専門部

【平成 2 2 年度 (財)全国高体連卓球専門部第 1 回理事会・評議員会議事録】

日 時：平成 2 2 年 8 月 7 日(土) 理事会 9：00～11：50
評議員会 12：30～14：00

会 場：沖縄コンベンションセンター
議 事：

あいさつ

(財)全国高等学校体育連盟卓球専門部長
沖縄県高等学校体育連盟卓球専門部長

後藤 泰之
嘉陽田 博史

協議事項

1 第 1 号議案 平成 2 1 年度事業報告承認の件(年報 2 4 号掲載)

(1) 平成 2 1 年度第 7 8 回全国高等学校総合体育大会(兵庫大会)

西村 委員長

(2) 平成 2 1 年度第 3 7 回全国高等学校選抜卓球大会(福島大会)

武田 委員長

(3) 平成 2 1 年度全国高校選抜冬季合宿・指導者講習会(千葉市)

安西 委員長

(4) その他・強化事業

丸田 副理事長

資料 4 頁参照(資料は理事会・評議員会資料)

承認

2 第 2 号議案 平成 2 1 年度収支決算報告承認の件

(1) 平成 2 1 年度収支決算書

安西 副理事長

ア 資料 2～3 頁参照。

イ 文書校正が間に合わず会計名に押印がないので了承いただきたい。

ウ 事業収入 1 0 0 万円はミニミニからの収入。

(2) 平成 2 1 年度収支決算監査報告

野崎 監事

承認

3 第 3 号議案 平成 2 2 年度事業計画案承認の件

(1) 2010 海外遠征「ジュニアサーキットスペイン大会」

丸田 副理事長

期 日：平成 2 2 年 5 月 5 日～5 月 1 0 日

会 場：プラジャ・ドアロ

ア 男子団体ジャパン B が優勝。女子ジャパン A・B は第 3 位。男子ダブルス優勝。

イ 個人では男子の吉村・柴田選手が第 3 位入賞。

2010 海外遠征「ベトナムゴールデンラケット大会」

期 日：平成 2 2 年 7 月 1 2 日～7 月 2 0 日

場 所：プンタウ

ア 男子団体 3 位入賞。女子シングルス天野選手第 3 位入賞。

イ 結果については年報 2 5 号に報告書掲載予定

承認

(2) 平成 2 2 年度第 7 9 回全国高等学校総合体育大会(沖縄大会)

眞島 委員長

ア プログラム販売を実施しない。学校対抗出場選手には全員分として 5 冊ずつチームに配布予定。

イ 式典の服装はユニフォーム・ゼッケン着用。必要に応じてチームジャージの着用を認める。

承認

(3) 平成 2 2 年度第 3 8 回全国高校選抜卓球大会(愛知大会)

坂部 委員長

期 日：平成 2 3 年 3 月 2 6 日(金)～2 8 日(日)

会 場：スカイホール豊田

ア 2 5 日に抽選会・監督者会議、2 6 日の朝一番で開会式を予定している。体育館は 2 5 日以後しか使用できない。

イ 試合終了時刻が遅くなることは避けたいので、初日の試合開始時刻をできるだけ早めたいのでタイムテーブルを検討する。

ウ 地元の負担を軽減するために参加料を値上げし、参加料は全国総体に準じて学校対抗戦 3 5 , 0 0 0 円、個人戦 3 , 5 0 0 円とする。

エ 個人戦の対戦パターン表をブロック理事に配布するので決めていただきたい。
大会要項では帯同審判が副審を担当するので、申込書に帯同審判員を記入する欄を
設けてもらいたい。
記入欄を設ける。

承認

- (4) 平成22年度全国高校選抜冬季合宿・指導者講習会(郡山市) 武田委員長
冬季合宿

期 日：平成22年1月4日(火)～7日(金)

会 場：郡山総合体育館

指導者講習会

期 日：平成22年1月5日(水)～6日(木)

会 場：郡山総合体育館

承認

- 4 第4号議案 平成22年度収支予算案承認の件 安西副理事長

ア 資料10・11頁参照

イ ミニミニからの事業収入は30万円。(昨年度より70万円減)

承認

- 5 第5号議案 平成22年～23年専門部役員改選の件

専門部長は評議員会で推戴する。

ア 専門部長の任を後藤泰之氏に引き続き委嘱する。

理事長・副理事長は理事会で選出する。

イ 理事長は小坂信彦が任を引き続き行う。

ウ 丸田哲生・初田泰宏副理事長は任を辞する。

副部長は専門部長が推薦する。

エ 丸田哲生・初田泰宏は副部長の任に就く。

オ 嘉陽田博史沖縄県専門部長・下山浩悦青森県専門部長は規約により副部長の任に就く。

カ 現副部長は継続して任に就く。

理事は専門部長が委嘱する。

キ 現理事は継続して任に就く。

監事は評議員会の推薦による。

ク 現監事は継続して任に就く。

- 6 第6号議案 理事会・各委員会・事務局提案承認の件

- (1) 強化委員会

丸田副理事長

ア 第3号議案 ア で説明した通り。

イ 今後の強化事業開催予定については資料4頁参照。

承認

- (2) 審判委員会

宮澤審判長

ア ルール変更について

・タイムアウトのルールが変わり、一方のタイムアウトに続き他方も連続してタイムアウトが取れるようになった。

・サービスルールの改正が実施され、副審もサービスの正当性に対して注意ができるようになった。

・今後のルール変更の予定。

促進ルールは9-9だけでなく10-8でも適用にならない。ITTFで決定し9月1日より適用される。

一連の動作の中で起こったダブルヒットは正規のリターンとして認められる。

イ 今大会の学校対抗戦の試合球の選択については、マッチごとにボールを選択させる。

オ コンベンション会場は仮設照明を設置したが照度不足。しかしプレーに支障ないと判断されるので監督会議で、了解を得て競技を実施する。

承認

- (3) 年報編集委員会

関川副理事長

購入冊数を増やすように努力いただきたい。(各県最低40冊購入)

承認

- (4) IT委員会 安西副理事長
岩手県の卓球専門部に依頼し、ホームページの更新等の運営を行っている。
承認
- (5) 平成23年度第80回全国高等学校総合体育大会(青森大会) 宗片委員長
同参加定数の確認 坂部事務局長
期 日:公開抽選会 平成22年8月8日(月)
開会式 8月9日(火)
競 技 8月10日(水)~14日(日)
閉会式 8月14日(日)
会 場:新青森総合運動公園 青い森アリーナ
ア 記念大会のため学校対抗参加校数は64校となる。初日は32台進行で1台当たり4試合実施し、2日目からは28台進行とする。
イ 展示事業を実施する。内容はインターハイの80年の歴史を振り返った内容。青森県選手の紹介。用具の進歩の歴史。諸費用は日本工業界に依頼する。配宿センターへ送金する予納金の取り扱いはどうか。まだ決定していない。
承認
- (6) 平成23年度第39回全国高等学校選抜卓球大会(秋田大会) 鎌田委員長
同参加定数の確認 坂部事務局長
期 日:平成24年3月23日(金)~25日(日)
会 場:秋田市立体育館
ア 従来の大会期間(3月25日以降)が剣道の全国大会と重複するため、期間を3日間早めた。
イ メインアリーナ、サブアリーナを使用する。防寒の準備をお願いしたい。
承認
- (7) 全国高体連卓球専門部創立80周年記念事業について 関川副理事長
ア 各ブロックから1チームを追加選抜し64チームで学校対抗戦を実施する。ブロックの選考方法は資料のようにお願いしたい。
イ 青森インターハイ開会式後、記念式典・祝賀会を兼ねたレセプションを実施する。
ウ 記念表彰を行う。役員表彰・監督表彰・特別表彰・工業会等表彰(役員・監督表彰費用1名につき7,000円は各都道府県専門部で負担)
エ 80周年誌を1,500冊(1冊2,000円前後)発刊する予定。各都道府県で最低20冊の購入をお願いしたい。
・ブロック代表理事は過去10年間の記録を執筆していただきたい。平成23年11月30日を締め切りとする。(1,500字、写真2枚程度)
・ブロック代表理事は著名な監督に執筆を依頼していただきたい。平成23年11月30日を締め切りとする。
・専門委員長は各県の10年間の記録を執筆していただきたい。平成23年11月30日を締め切りとする。
承認
- (8) その他
学校対抗戦における外国人留学生の出場位置の検討依頼が、昨年度の評議員会時に質問として出されていた。卓球専門部としては現在の規約が適正と考えるが、再度今大会中に検討して報告する。

報告事項

- 1 平成22年度第1回高校総体中央委員会(4/23) 小坂理事長
平成24年度全国高校総体開催に係わる経費負担軽減の要望があったので、財源確保について今後検討していく。
- 2 (財)全国高体連卓球専門部第1回評議員会(5/25) 小坂理事長
(1) 適正な予算執行や多額の繰越金を持たないように指導があった。
(2) 年報編集費は渡しきり支出ではなく、実費支出としていきたい。
- 3 (財)全国高等学校体育連盟専門部長・委員長会議報告(6/15) 小坂理事長
(1) 全国総体参加時の広告付きゼッケン導入については、メインスポンサーが見つからず廃案となった。卓球競技では日卓協のゼッケンを使用しているために導入が難しい。

- (2) プログラム販売に対する追徴課税金を全国高体連が課せられた。
- 4 (財)日本卓球協会第1回評議員会(5/30) 小坂理事長
- (1) ジャパンオープンで青森山田の神選手がU-19で第2位。
- (2) 全中選抜大会の使用球がオレンジからホワイトに変更される。
- 5 その他 小坂理事長
- (1) 選手マナー向上のために、選手同士や審判に対する握手の励行を指導をする。
- (2) 試合直後の挨拶の励行について指導する。
- (3) 携帯電話の競技フロア内での使用制限について指導する。
- 連絡事項
- 1 開催地実行委員会 眞島委員長
- 2 事務局 坂部事務局長

平成22年度(財)全国高等学校体育連盟卓球専門部「年報」編集委員会 議事録
平成22年8月8日(日)
JPA' ショウセンター-会議棟 B-3 AM10時~

- 1 理事長挨拶 小坂信彦理事長
- 2 議事(司会進行:関川)
- (1) 平成22年度内容について
ブロック大会・結果 インターハイ 国民体育大会 全日本選手権 選抜大会
合宿・指導者講習会 日・中・韓交流大会 海外遠征報告 その他
名簿(全国高体連役員・評議員・強化委員・年報編集委員・関係機関・OB会)
事務報告(決算・予算、各種会議報告等)
名簿でOB会の先生が抜けていないかを確認すること。
- (2) 平成22年度「年報25号」編集について
サイズ(現行サイズ:A4タテ)約42~44文字、10.5~11ポイント MS明朝
・個人戦のトーナメント表(ヤグラ)への、氏名・学校名・学年の記入。(名簿の省略)
・各ブロックの原稿を、そのまま年報原稿とする 原則
題字・表紙(全国高体連卓球専門部長による)
広告(日本卓球・タマス・ヤマト卓球の三社に依頼。掲載場所は年毎に移動)
ブロック大会結果
(各ブロック編集委員の責任編集とし、原稿を茨城玉造工業高校 関川へ郵送)
インターハイ(沖縄)・国民体育大会(千葉・旭)・選抜愛知・豊田大会結果
(委員長が開催地競技委員長を通じて依頼し、大会記録を茨城玉造工業高校 関川へ郵送)
全日本選手権結果
合宿、日・中・韓交流大会・海外遠征報告等(全国高体連事務局:稲垣先生より)
事務報告、部報等(全国高体連事務局:鈴木基稔先生より)
名簿関係(全国役員 鈴木基稔先生、OB会 植松克之先生と中村良一郎先生より)
担当者: は各ブロック編集委員、 は関川、 は稲垣、 は鈴木、
- (3) 印刷・出版に 関して
*原稿送付先
〒311-3501 茨城県行方市芹沢1552 茨城県立玉造工業高校 関川治郎 宛
(TEL:0299-55-0138 FAX:0299-55-3454 携帯:090-3094-1854)
*印刷所
〒311-4153 茨城県水戸市河田町4433-33 山三印刷株式会社
(TEL:029-252-8481 FAX:029-252-8459)
- 3 閉会のことば